公文書問題

問 公文書の適正な管理・保存の方向性は

答 時代に即した条例整備をしていきたい

篠﨑　久美子　議員

【公文書管理について】

問 **公文書の整理と保管状況は。**

村長 事務室キャビネットと施錠された地下書庫で保管しています。

問 **保存年限経過後の処分は。**

村長 年に１～２回定期的に処分し、個人情報のあるものは別途処分しています。

問 **公文書管理法により、散逸の防止、適正な管理・運営など努力義務が課されているが。**

村長 現規定は昭和31年制定で時代にそぐわないので、法の趣旨に則り条例整備をしていきたいと考えています。本年度は準備段階として、全職員対象の公文書公開・文書管理の研修を行い、現在は文書の再把握作業をしています。

【新年度予算について】

問 **新年度予算の編成方針は。**

村長 地域懇談会等での住民の声や事業の緊急性等を判断し、合わせて職員の資質向上等を図る人材育成、行政改革、歳入の的確な確保と新たな財源創出を具体的方策として取り組んでいます。

問 **公約の反映状況は。**

村長 無電柱化事業導入が見込まれることとなり、山岳観光都市として整備を進めていきたいと考えています。

問 **景気刺激策として、今年度終了の「住宅リフォーム補助金制度」の延長の考えは。**

村長 制度に替わる何かができないか、検討をしなければならないと思っています。

問 **小規模事業者経営改善資金への利子補給制度創設のお考えは。**

村長 どのようなかたちで予算に反映できるか、商工会の方とも話し合いながら、対策は講じていきたいと思っています。

【ふるさと納税について】

問 **「白馬村を応援する寄付金」の状況は。**

村長 平成25年４月から11月までで、７名の方から総額５３２万円のご寄付をいただいています。本年度寄付金は年度末に基金化し、来年度以降の事業に活用する予定です。

問 **他の自治体では、特典を付けて寄付を募り活用している事例が多くある。特典付与などをして、村のPRにもつなげる考えは。**

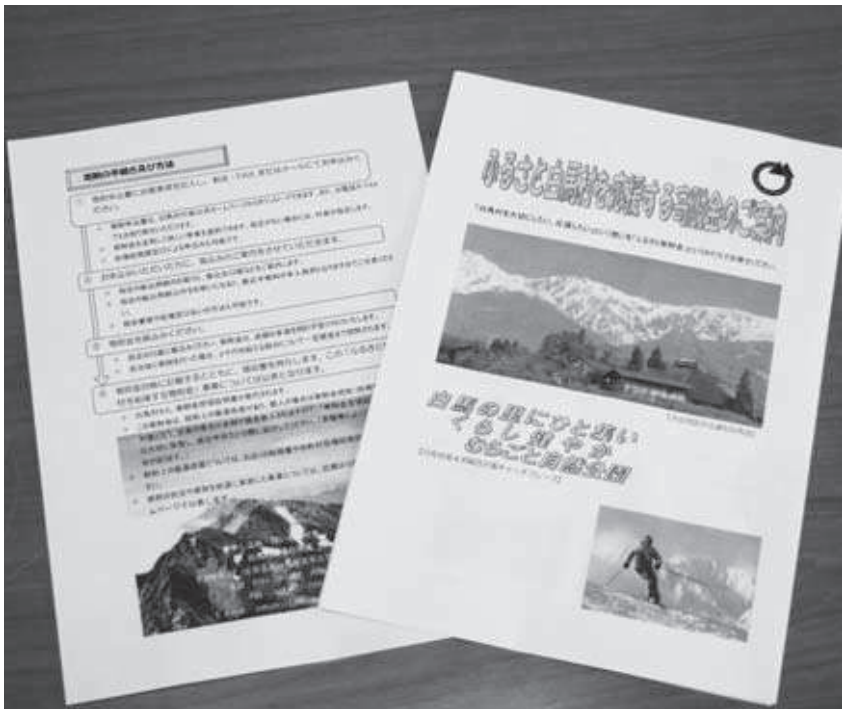
村長 県下では43市町村が実施しています。本村はパンフレット送付のみですが、現在検討中です。

問 **寄付金を活用した事業実施状況の寄付者へのお知らせは。**

村長 運用状況を掲載した「広報はくば」をお送りしており、本年度はサマージャンプ大会チケットを同封しました。

問 **寄付状況や活用をホームページで公表するとあるが。**

村長 更新が滞っていましたので、指示をして改善させました。



ふるさと白馬村を応援する寄付金パンフレット